

2025年度	科目名	教材・授業研究特論（1）
	英語名	Advanced Seminar on Instructional Materials and Lesson Study（I）
	科目属性	専門科目 A群
	担当教員	坂田 映子
	単位数	2単位（SC 0.25単位）

【授業の目的・ねらい】

【授業の概要】

本特論 I では、学習理論、授業デザイン、教授法等の理論的背景及び最近の動向について理解し、各教科等多様な授業に対応する学習プログラムを構想し、教材開発等オリジナリティのある教育実践を試行する。また、カリキュラム・マネジメントによる授業改善により、未来を担う学習（修）者の資質・能力の向上に寄与できることを目的とする。

【授業の到達目標】

1. 学習理論、教授法等の理論的背景及び最近の動向から、理論と実践の両輪による授業の在り方について理解できる。
2. 授業デザインと方法について理解できる。
3. オリジナリティのある単元及び学習プログラム等の構想ができる。
4. 単元等計画及び教材開発(P)・実践(D)・評価(C)・改善(A)を通して、実践的・専門的な力を高め、学習（修）者の資質・能力の向上に寄与できる。

【授業計画】

- 第 1 回 学習理論・教授理論と授業
- 第 2 回 学習環境と授業
- 第 3 回 メタ認知・概念学習と授業
- 第 4 回 教材開発と教材研究
- 第 5 回 授業を作り上げる指導過程
- 第 6 回 授業研究(レッスンスタディ)の在り方
- 第 7 回 授業デザインと方法
- 第 8 回 カリキュラム・マネジメントと授業改善
- 第 9 回 授業評価と分析の仕方
- 第 10 回 試行的単元または試行的学習プログラムの構想、オリジナリティの探究①（P）
- 第 11 回 試行的単元または試行的学習プログラムの指導法の開発②(P)
- 第 12 回 試行的単元または試行的学習プログラムの実践(D)
- 第 13 回 試行的単元または試行的学習プログラムの評価(C)
- 第 14 回 試行的単元または試行的学習プログラムの授業改善(A)
- 第 15 回 まとめ

【評価方法】

「スクーリング評価」（25%）、「レポート評価」（25%）、「科目修得試験」（50%）による総合評価。

【教科書】

1. 高垣マユミ編著.(2010) 授業デザインの最前線Ⅱ –理論と実践を創造する知のプロセス, 北大路書房.ISBN 978-4-7628-2708-2 C3037
2. 菊地 章(編)兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科共同研究プロジェクト(w)研究グループ(著).(2021)『博士号につながる「教科教育実践学」論文の書き方 – 院生・修了生・教員が明かすアクセプトの秘訣 –』九州大学出版会 ISBN978-4-7985-0297-7

【参考図書】

1. 大嶋純・千代西尾祐司 編 (2019)『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』北大路書房. ISBN 978-4-7628-3080-8 C3037
2. G. ウィギンズ、J. マクタイ著 (西岡加名恵訳)。(2012). 理解をもたらすカリキュラム設計 – 「逆向き設計」の理論と方法, 日本標準.ISBN-10: 4820805576 ISBN-13: 978-4820805571

